



## 2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年8月14日

上場会社名 株式会社ベビーカレンダー 上場取引所 東  
コード番号 7363 URL <https://corp.baby-calendar.jp>  
代表者（役職名） 代表取締役（氏名） 安田 啓司  
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO（氏名） 竹林 慶治 TEL 03-6631-3600  
半期報告書提出予定日 2024年8月14日 配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

### 1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

#### （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	735	27.8	29	108.7	29	106.1	25	—
2023年12月期中間期	575	13.4	14	—	14	—	△11	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	29.23	28.75
2023年12月期中間期	△12.65	—

（注）当社は、2023年12月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため、記載しておりません。

#### （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	977	690	70.6
2023年12月期	1,017	706	69.4

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 690百万円 2023年12月期 706百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,407	16.9	9	—	6	—	3	—	4.26

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期中間期	941,700株	2023年12月期	941,700株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	67,032株	2023年12月期	40,032株
③ 期中平均株式数（中間期）	2024年12月期中間期	886,611株	2023年12月期中間期	901,668株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間貸借対照表	5
(2) 中間損益計算書	6
中間会計期間	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

国際連合は2024年の国際女性デーのテーマを「女性に投資を。進歩を加速しよう。」とするなど世界全体で女性の活躍を後押しする環境が整いつつあります。そのような環境のもと、当社では「女性の笑顔でいっぱい -A Sea of Smiling Women-」をビジョンに掲げ、女性の一生をサポートするための情報発信を主軸とした事業及び産婦人科など全国の医療施設向けにITを用いたソリューションサービスを提供する事業を展開しております。

こうした取り組みの結果、当中間会計期間の売上高は735,214千円(前年同期比27.8%増)、売上総利益490,190千円(前年同期比29.7%増)、営業利益は29,523千円(前年同期比108.7%増)、経常利益は29,466千円(前年同期比106.1%増)、中間純利益は25,917千円(前年同期は11,407千円の間接純損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### (メディア事業)

メディア事業は「ベビーカレンダー」「ムーンカレンダー」「ウーマンカレンダー」「シニアカレンダー(旧介護カレンダー)」をはじめとした女性のライフステージそれぞれに注力した専門サイトの運営をおこない、①PV連動型広告、②タイアップ広告、③成果報酬型広告の3つの活動をしてまいりました。当中間会計期間は、前述の当社運営サイトはいずれもPV数およびUU数ともに好調に推移しており、広告販売枠においても当社運営サイトの伸長と並び順調に推移しております。また、今期から強化している主に編集面における生産性の向上が功を奏した結果となりました。

その結果、売上高は589,403千円(前年同期比45.9%増)、セグメント利益は138,763千円(前年同期比48.9%増)となりました。

#### (医療法人向け事業)

医療法人向け事業は、医療機関が抱えるさまざまな課題解決のために「ベビーパッドシリーズ」「エコー動画館」「かんたん診察予約システム」「おぎゃー写真館・動画館」といった各種サービス、およびホームページや動画制作、SEOコンサルティングなど総合的な「Webマーケティング」「グラフィック制作」といった幅広いソリューションの拡販をおこなっております。また、診察等各種予約やコンテンツの閲覧などができる産院を中心とした医療機関向けスマートフォンアプリをリリースし、これまで以上に医療機関とその患者様の利便性を高め満足していただける体制を構築しました。一方で、当中間会計期間は、「ベビーパッドシリーズ」における契約更新件数が多かった前年と比較すると売上高、セグメント利益ともに減少する結果となりました。

その結果、売上高は145,811千円(前年同期比14.7%減)、セグメント利益は13,232千円(前年同期比53.4%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて20,660千円減少し、624,225千円となりました。これは、主に売掛金が40,188千円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて19,059千円減少し、353,465千円となりました。これは、主に減価償却により無形固定資産が20,889千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べて39,720千円減少し、977,690千円となりました。

#### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて18,272千円増加し、274,578千円となりました。これは、主に買掛金が7,279千円増加し、税引前中間純利益の計上により未払法人税等を8,300千円計上したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて42,198千円減少し、12,801千円となりました。これは、主に長期借入金40,930千円を1年内返済予定の長期借入金に振替えたことによるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて23,926千円減少し、287,380千円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて15,794千円減少し、690,310千円となりました。これは、主に中間純利益の計上により利益剰余金が25,917千円増加した一方、自己株式の取得により自己株式41,712千円を計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物(以下「現金」という。)は、前事業年度末と比べて7,007千円減少し、350,216千円となりました。

当中間会計期間における各キャッシュ・フローの状況及び主な増減要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は98,595千円(前年同期は21,002千円の支出)となりました。

これは主に、税引前中間純利益29,466千円、減価償却費25,914千円、のれん償却額7,847千円及び売上債権の増減額40,188千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は13,530千円(前年同期は11,905千円の支出)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出4,430千円及び無形固定資産の取得による支出9,100千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は92,071千円(前年同期は62,482千円の支出)となりました。

これは主に、長期借入金の返済による支出50,134千円及び自己株式の取得による支出41,753千円によるものであります。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

### (1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当中間会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	357,223	350,216
売掛金	222,145	181,957
貯蔵品	33,669	34,594
その他	33,212	58,553
貸倒引当金	△1,365	△1,096
流動資産合計	644,886	624,225
固定資産		
有形固定資産	11,736	13,565
無形固定資産		
ソフトウェア	201,602	192,097
その他	111,427	100,043
無形固定資産合計	313,030	292,141
投資その他の資産		
その他	50,760	50,760
貸倒引当金	△3,003	△3,003
投資その他の資産合計	47,757	47,757
固定資産合計	372,524	353,465
資産合計	1,017,411	977,690
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,083	44,362
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	66,934	57,730
未払法人税等	—	8,300
その他	102,288	114,185
流動負債合計	256,305	274,578
固定負債		
長期借入金	40,930	—
資産除去債務	7,164	7,171
その他	6,905	5,630
固定負債合計	55,000	12,801
負債合計	311,306	287,380
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	285,030	285,030
資本剰余金	415,626	415,626
利益剰余金	97,405	123,323
自己株式	△91,957	△133,669
株主資本合計	706,104	690,310
純資産合計	706,104	690,310
負債純資産合計	1,017,411	977,690

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	575,104	735,214
売上原価	197,206	245,024
売上総利益	377,898	490,190
販売費及び一般管理費	※1 363,755	※1 460,667
営業利益	14,143	29,523
営業外収益		
受取利息	3	1
受取手数料	—	224
還付加算金	50	75
その他	560	4
営業外収益合計	613	305
営業外費用		
支払利息	334	337
その他	131	24
営業外費用合計	466	361
経常利益	14,290	29,466
特別損失		
投資有価証券評価損	※2 18,548	—
特別損失合計	18,548	—
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△4,258	29,466
法人税、住民税及び事業税	7,908	4,701
法人税等調整額	△759	△1,151
法人税等合計	7,149	3,549
中間純利益又は中間純損失(△)	△11,407	25,917

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前中間純利益又は税引前中間純損失(△)	△4,258	29,466
減価償却費	18,917	25,914
のれん償却額	5,888	7,847
投資有価証券評価損益(△は益)	18,680	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	△268
受取利息	△3	△1
支払利息	334	337
売上債権の増減額(△は増加)	△13,333	40,188
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,365	△925
仕入債務の増減額(△は減少)	6,961	7,279
未払金の増減額(△は減少)	△24,339	△19,249
その他	△35,219	2,839
小計	△29,823	93,427
利息の受取額	3	1
利息の支払額	△334	△337
法人税等の支払額	△503	△743
法人税等の還付額	9,656	6,246
営業活動によるキャッシュ・フロー	△21,002	98,595
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,625	△4,430
無形固定資産の取得による支出	△9,280	△9,100
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,905	△13,530
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△61,846	△50,134
リース債務の返済による支出	△636	△183
自己株式の取得による支出	—	△41,753
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,482	△92,071
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△95,389	△7,007
現金及び現金同等物の期首残高	716,414	357,223
現金及び現金同等物の中間期末残高	※ 621,024	※ 350,216

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	403,973	50,641	454,615
その他の収益	—	120,489	120,489
外部顧客への売上高	403,973	171,130	575,104
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	403,973	171,130	575,104
セグメント利益	93,132	28,426	121,558

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	121,558
のれん償却額	△5,888
全社費用(注)	△101,527
中間損益計算書の営業利益	14,143

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当中間会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	メディア事業	医療法人向け事業	
売上高			
顧客との契約から生じる収益	589,403	60,485	649,888
その他の収益	—	85,326	85,326
外部顧客への売上高	589,403	145,811	735,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	589,403	145,811	735,214
セグメント利益	138,763	13,232	151,995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	151,995
のれん償却額	△7,847
全社費用(注)	△114,625
中間損益計算書の営業利益	29,523

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。